

# 【 提 案 】

## 遠賀川流域市町村間の 防災・減災に係わる 相互応援協定

直方市

**平成30年7月豪雨災害の際、多くの住民が避難所に避難したが、避難物資の不足や避難所の開所、運営に多くの問題があった。**





# 第1回災害対応検証会議を開催しました

問い合わせ…総務・コミュニティ推進課 安全安心まちづくり係 (TEL 25-2223)

## 1. 避難所に関連すること

- 《避難所指定》
  - 地域対応、水害対応など災害の種類によって対応できる避難所の開設率や開設順序などを明確にしてください。
  - もっと身近でめ細やかな避難所の設置を地域と一緒に検討してほしい。
  - 避難所の収容可能人数の算出に使用する一人当たりの面積にもゆとり・余裕がほしい。
  - 指定した避難所は、ハザードマップとの整合性を整理しわかりやすく連絡してほしい。
- 《避難所運営》
  - 避難所に避難する場合、車での避難が多く、運動場の活用など駐車場の確保をお願いしたい。
  - 小中学校での対応として、体育館（屋内運動場）がいっぱいになった場合に教室等の開放を速やかに対応してほしい。
  - 高校生が避難所運営の手伝いをしているにもかかわらず、高校生などの防災ボランティア育成教育を実施してほしい。
  - 避難所には、トイレ等の場所がだれにでもわかるように案内表示などを準備して迅速に対応してほしい。
  - 災害情報を取得するためのテレビや掲示板等の設置を検討してほしい。また、洋式トイレの数が足りていないことがわかった。
  - 避難所に市などの支援物資を配送するより搬運した方が有効ではないか検討をお願いしたい。
  - 避難所の配属職員の数に足りていない状況、配置された職員についても、地域のことを知らない職員が多かった。
- 《自主運営》
  - 自治会を中心に地域で判断し、炊き出し等の避難所の運営を実施した。避難所の運営は、地域のことよくわかる地元で運営を行ったほうが効果的ではないか。



平成30年7月豪雨における避難所をはじめとする市の対応について、7月24日に自治区公民館連合会の自治区長、公民館長にお集まりいただき、第1回災害対応検証会議を開催しました。その際いただいたご意見等を、下記のとおりご紹介します。検証会議でのご意見やアンケート等をもとに、今後の災害対策の見直し、検討を進め、その結果につきましては、あらためてご報告いたします。

## 3. 災害対策に関すること

- 《土木付近に運賃川の水位の情報を得ることができるように水位計などの設置を検討してほしい。》
  - 道路冠水が予測される付近の病院等の施設へ連絡体制や避難ルート、支援物資の輸送ルートなどの確保等を行ってほしい。
  - 災害時の民間業者への協力依頼。
  - 河川敷の浸水やホウの伐採等対策をとってほしい。
  - 中央の太陽光発電施設による災害の影響を検討してほしい。今後の状況把握を行ってほしい。
  - 市内各地で発生している内水等の被害について、検証と対策をお願いしたい。

## 4. 施設に関すること

- ポンプ故障時の対策や操作入へ返信メールを含め研修を徹底していただきたい。
- 毎年、川瀬川で冠水している。今年も浸かったがポンプの限界もある。
- ポンプでの対応には限界があるが、根本的な対策をお願いしたい。
- 各ダム施設における防災等の標準や、放流時の関係機関・関係者への連絡体制の強化。
- 下水道理から下水道機能ストップする旨のメールが入った。対応等についてもハザードマップなどの形で改めて周知してほしい。



## 5. 消防団に関すること

- 地域と協力した消防団の活動と消防署・災害対策本部との連携をお願いしたい。

## 6. 要配慮者に関すること

- 要配慮者など災害に弱い方に対して今回のような事時的な対策を継続してほしい。

## 7. 地域活動に関すること

- 自治会を中心に防災に関する団体などで防災会議的な協議会を立ち上げてほしい。

## 2. 災害情報に関すること

- 《防災無線》
  - 聞こえにくい地域があった。市全域で聞こえ方などの点検を行ってほしい。
  - 緊急性や危険性が伝わりにくい。放送時の言葉・やり方を見直してほしい。
  - エリアごとに関係性の高い情報を放送してほしい。
- 《防災メール》
  - 防災メールの配信には、高齢者にもわかりやすいように、文面、内容は十分な配慮と工夫をお願いしたい。
  - 《その他情報》
    - 地域に掲示板のようなものを設置し、防災情報を取得しやすい仕組み作りを行ってほしい。
    - 大きな災害に対しては、今回のような検証会議をこれからも実施してほしい。
- 《ハザードマップ関連》
  - 水害を想定した避難所付近の安全な避難ルートを記載してほしい。
  - 災害種別による避難所の色分けなどによる区分。
  - 屋内運動場ではなく体育館など親しみのあるわかりやすい連絡先や言葉をつかってほしい。
  - 土砂災害警戒区域以外に土砂崩れの危険区域がある場合は、ハザードマップに表記し更新をお願いしたい。



## より良い防災体制を目指して

本市の防災体制をより良いものにするために行った「7月豪雨災害アンケート」では、4,832人より回答をいただきました。お忙しい中多くの方にご協力いただき、ありがとうございます。(回収率37.75パーセント)  
アンケートの結果や検証会議での意見をもとに、今後の災害対策の見直し、検討を進め、災害に強いまちづくりを行います。  
なお、アンケートの詳細は、市ホームページをご覧ください。

### 1. 防災情報の取得方法（複数回答可）

テレビ（文字放送）	35.78 (%)	《その他》
エリアメール	15.25	▷市からの連絡・ファックス
防災メール（まもるくん、つながるおがた）	12.77	▷市へ問い合わせ
インターネット/携帯アプリ情報（ツイッター等）	9.97	▷ケアマネージャー
自治会等からの連絡	7.77	▷ライブカメラ
消防団の連絡（広報）	5.55	▷新聞
家族等からの連絡	5.28	▷ハザードマップ
防災無線	4.45	
民放ラジオ	1.39	
防災ラジオ	0.45	
その他	0.42	
無回答	0.91	

### 2. 災害時に欲しい情報（複数回答可）

避難川河川情報（水位）	25.13 (%)	《その他》
避難所の開設状況	18.04	▷河川の水位情報、ポンプ稼働状況
通行止め等の道路状況	17.76	▷避難所の空き状況・収容可能人数、車での避難（駐車場の空き）情報
気象情報	17.52	▷避難指示が出ている具体的地域
市内の被災状況	12.24	▷通行止めの有無、道路状況、浸水地区、土砂災害状況
公共交通運行状況	7.34	▷福祉避難所の場所（設備）
その他	1.25	▷ペット同行可能な避難場所情報
無回答	0.72	▷自治会からの連絡（高齢者は携帯、インターネット使えない）
		▷子ども向け避難所情報、市内の幼稚園・保育所・学校等の情報

### 3. 今回の水害のような場合の避難手段

自家用車	52.02 (%)	《その他》
徒歩	26.16	▷避難しにくい（自宅が高台、マンション、ペットがいるため等）
家族等の車	13.21	▷避難できない（高齢、病気、障がい等）
タクシー等	3.83	▷近所の人や自治会の人と避難する
その他	1.95	
無回答	2.83	

5 | 市報のおがた

# 7月豪雨災害アンケートを実施

## 4,832世帯より回答(回収率37.75%)

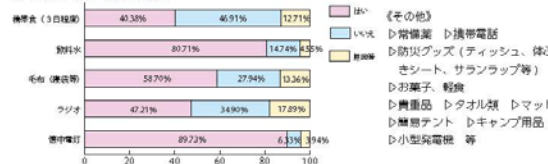
## 平成30年11月1日市報や直方市ホームページに掲載

# 7月24日に 市内の自治区長や公民館長にお集まり頂き

# 『第1回災害対応検証会議』を開催 避難所や災害情報、災害対策など36項目 (平成30年9月1日市報に掲載)

問い合わせ…総務・コミュニティ推進課 安全安心まちづくり係 (TEL 25-2223)

### 4. 避難所へ持って行けるもの



### 5. 避難所の運営は、地域のことを把握している地元の人で運営した方がいいと思うか

そう思う	62.50 (%)	《その他》
思わない	7.73	▷市と地域が協働・協力して
どちらでもない	26.33	▷市が運営、地域が協力
無回答	3.44	▷日頃のコミュニケーション、意思疎通が大切
		▷経験者の意見との組み合わせ

### 6. 家族の中に避難所の運営に協力できる人はいるか。いる場合、避難所でできる手伝いは何か

いる	15.62 (%)	食事の炊き出し	16.18 (%)	《その他》
いない	35.59	避難者の受付	14.82	▷日用品などの配給
どちらともいえない	45.21	子ども・高齢者の世話	14.74	▷清掃
無回答	3.58	駐車場の整理	8.72	▷話し相手になる
		災害情報の伝達など	5.69	▷健康講座、カウンスリング（医師やカウンセラーの資格あり）
		避難所の設営	5.15	
		ペットの世話	4.06	
		病人の看病	1.97	
		その他	0.78	
		無回答	27.90	

※できる手伝いは複数回答可

### 7. 避難時のペットについて

ペット占有スペースを分け人と区別してほしい	40.39 (%)	《その他》
ペットも人と同じ避難所内に避難させてほしい	16.09	▷ペットが苦手な人やアレルギーの人、衛生面のことを考えたら一緒に無理
避難所におけるペットの受け入れは難しい	14.29	▷ペットも一緒に過ごす専用の避難所を設置
その他	1.78	▷基本的に人畜優先ではないか
無回答	27.46	▷日頃から飼い主が責任をもって「どうするか」考えておくべき
		▷ペット専用カゴに入れておけば大丈夫
		▷テントが車

7 | 市報のおがた

市報のおがた | 5

**自治会長等との検証会議や住民アンケート結果からも、**

- ・ **開設する避難所の数を増やしてほしい。**
- ・ **食料や毛布など物資が足りない。**
- ・ **避難所の運営については日頃からの訓練が必要。**

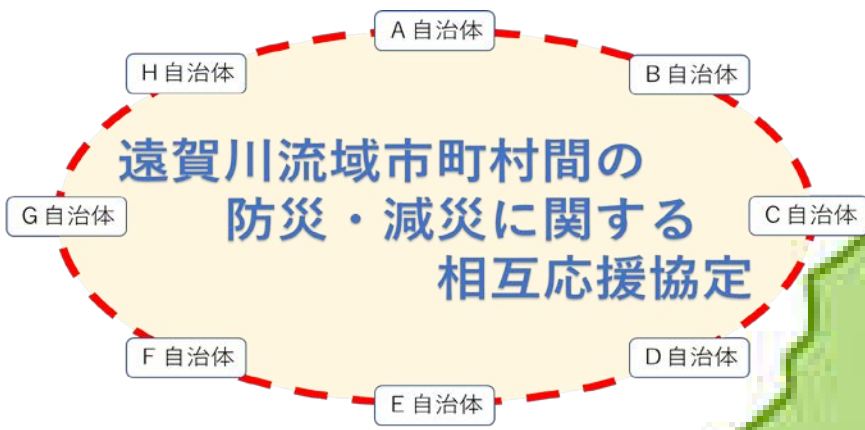
**などたくさんのお意見を伺った。**

**なかなか単独の自治体では困難 . . . .**

**平成17年に『災害時における福岡県内の市町村間の相互  
応援に関する基本協定』が県内全市町村で締結されているが、  
日頃からの連絡調整や訓練などを行っていないため難しい。**

### **【提案】**

**・日頃から協議会等で連携している遠賀川流域内で災害時の  
応援協定を締結できないか？**



現在、各市町村は他地域の自治体と協定を締結

他県の自治体

災害時相互応援協定

- ・ 資機材の提供
- ・ 職員の派遣
- ・ 災害応援措置 等

民間団体

災害時相互応援協定

- ・ 応急工事
- ・ 生活必需物資の提供
- ・ 医療救護活動 等

他地域の自治体からの支援だと物資や人員など支援が届くまで時間がかかるなど課題・・・  
 (流域内全体が被害を受けるなどの大規模災害時は有効)

### 流域市町村間での応援協定(案)

- ① 流域内の一部の市町村で被害を受けた際、被害を受けていない市町村で物資等の提供・応援。
- ② 日頃から流域内市町村と連携し、防災訓練や周知活動などを実施。



今後、応援協定について調整したい。